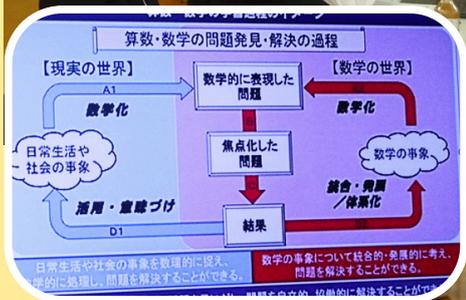


須江直喜先生（芦原中学校）の「極意」伝承道場訪問



須江先生に触発された受講者は各教室で実践を深めました！

観て、聴いて、やってみよう



算数・数学教育で使われる「グルグル図」を用い、教師の“指導”だけでなく“あり方”まで伝えてくれた道場でした！

須江先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。今回が最終回ということで、受講者が自分の実践を発表し、意見交換をし、須江先生がその内容を価値付けてくれました。受講者は算数・数学をただ教科書通りに教えるのではなく、子どもの興味や理解・活用等を考え、教材を決めだしていました。その時に須江先生に教えていただいた「グルグル図」を基に子どもたちが算数・数学のよさを実感できるように考えていました。

須江先生の話が内容豊かで、サケの遡上の話やチョコパイの重さの話、アイスクリームのフレーバーの選択などから、算数・数学と関連付け、子どもが面白いと思うことや子どもが実感するということの大切さ、他の単元と関連付けること、文章題の行間を読むこと、単元構想を大事にすることなどを話してくれました。

最終回ということで、須江先生から自分のストロングポイントを大切にすること、常におごらず、愚直に取り組むこと、笑顔を大切にすることを話していただき、教師のあり方についても示していただきました。Stay hungry, stay foolish であれと、素敵な須江先生の道場でした。

12月1日（月）